

社会資本総合整備計画														防災・安全交付金		令和07年01月24日	
計画の名称	小野市における水環境の整備（3）（防災・安全）																
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）												重点配分対象の該当				
交付対象	小野市																
計画の目標	下水道施設の長寿命化を図ることで、安全・安心、快適な暮らしを実現し、市民の良好な生活環境を確保する。																
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		242	A	242	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6末	R8末
1	持続可能な下水道事業の実施を図るため、小野市ストックマネジメント計画を策定し、計画的かつ効率的な長寿命化対策を行う。			
	ストックマネジメント変更計画策定数（計画）	0計画	0計画	1計画
	変更策定済みの計画数（計画）／変更策定が必要な計画数（計画）（1計画）			
2	令和8年度末までに、小野市ストックマネジメント計画に基づく点検・調査の進捗率を100%に増加させる。			
	污水管渠の点検・調査進捗率（％）	0%	50%	100%
	点検・調査済み管渠延長（km）／点検・調査予定管渠延長（km）（32km）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

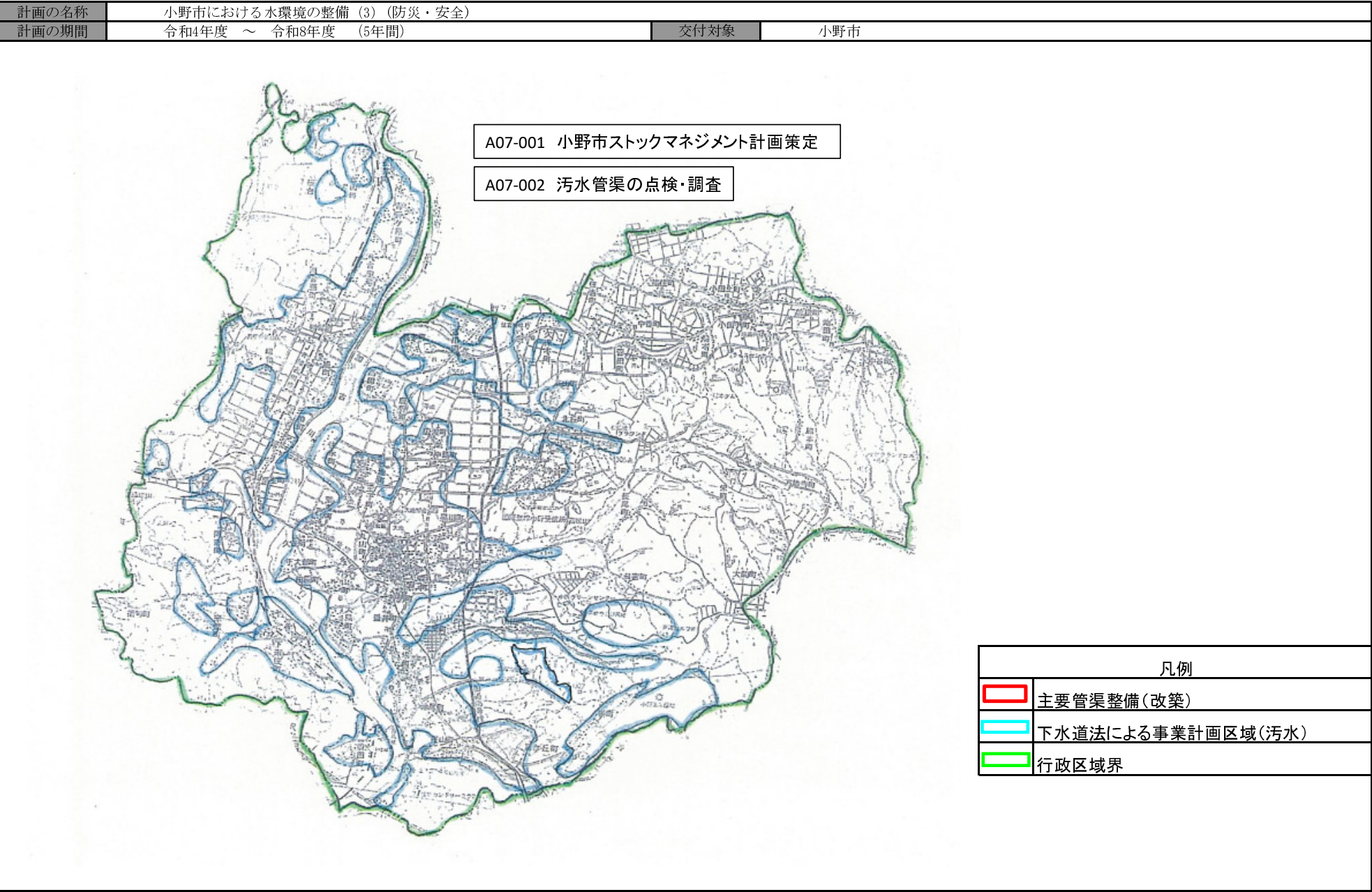
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 汚水）	改築	小野市ストックマネジメ ント計画策定	計画策定・改築更新・実施計 画	小野市	■	■	■	■	■	80		-
		ストックマネジメント																	
		A07-002	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 汚水）	改築	汚水管渠の点検・調査	L=32km	小野市	■	■	■	■	■	32	
	ストックマネジメント																		
											小計						112		
水道・下水道事業	A07-003	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 汚水）	改築	マンホール鉄蓋交換	マンホール鉄蓋交換 N=170 箇所	小野市				■	■	50		-
		ストックマネジメント																	
		A07-004	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠（ 汚水）	改築	マンホールポンプ更新等	マンホールポンプ更新等 N= 1式	小野市				■	■	80	
	ストックマネジメント																		
											小計						130		
											合計						242		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	14	4	9		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	14	4	9		
前年度からの繰越額 (d)	0	3	0		
支払済額 (e)	11	7	9		
翌年度繰越額 (f)	3	0	0		
うち未契約繰越額(g)	3	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	21.42	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	契約価格が予定価格を下回ったため				

参考図面（社会資本整備総合交付金（防災・安全））



事前評価チェックシート

計画の名称： 小野市における水環境の整備（３）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 １）上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 ２）下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 ３）関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 １）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 ２）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 １）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 １）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 １）十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 ２）関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 １）事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 ２）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○